

14歳の挑戦三日目。取材にも大分慣れてきました。今回は、青葉保育園で園長先生をしている井幡清志先生に話を聞きます。保育園には小さい子がいっぱい居て、みんな廊下を走り回ったり粘土を捏ねたりして無邪気に遊んでいました。

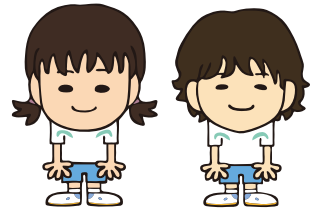
隣人を愛しなさい

石動青葉保育園
井幡清志 園長先生
No.72

保育園では、クリスマス会や運動会など、子供たちが率先して活動する行事がたくさんあります。その日々の中で、子供たちの成長の様子を見るのが今の園長先生の楽しみでは、園長先生自身はどのような子供だったのでしょうか。

「小さい頃はガキ大将のような子で、友達を引き連れて野山を走り回っていました。」「いろんな子と遊びましたが、親友といえる人は二、三人くらいです。」
「小学2年生の時に『ぞうさん』

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



大谷中学校 14歳の挑戦

この記事は14歳の挑戦の一環として大谷中学校の生徒が取材をして、記事を書きました。

遊びも勉強も万能だった園長先生にも弱点が「子供の頃に嫌いだっただ食べ物は、レバーでした。でも好き嫌いはいまありません。」「園長先生にも嫌いな食べ物があったことに驚きました。私は好き嫌いがないので昔のお話をし

さんとげたや」という劇で、ぞうさんの足の裏に刺さった棘を抜く下駄屋さんをやりまして。その時ぞうさん役だった人とは、中学も高校も大学も同じで、あれから40年以上経った今でも彼とは友達なんです。」と、園長先生のように、何かのきっかけで何十年以上も友達でいるということはすごいことだと思いましたが、子供のころの夢は、「宇宙に行くこと。」「SF小説を読んで影響を受けて宇宙飛行士としてじゃなくとも良いから宇宙に行きたかったんです。学問を極めることにも興味がありました。」と、大きな夢をもっていたんだなと思いました。

「今は今、昔は昔と考えて今を大事に生きています。決して昔には戻れないし、未来に行くこともできないけれど、昔のことは全部今につながっています。」
子供のころも、現在も一日一日を大切に生きてきた園長先生だからこそこの言葉だと思えます。
牧師さんでもある園長先生の好きな言葉は、「聖書に載っていた『隣人を愛しなさい』という言葉と『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』という言葉。」

「今を大事に生きています。決して昔には戻れないし、未来に行くこともできないけれど、昔のことは全部今につながっています。」
「園児達が羽ばたく将来を待ち望んでいるように思っています。」
「ありがとう集めで書いて貰った言葉は『子供たちとの出会いにありがとう』という言葉でした。」
「お父さん」の優しい愛情をたくさん貰った園児達は、きっと将来立派な大人になってくれる事でしょう。私達も、みんなからいろんなことを教えてもらい立派な大人に成長したいと思えます。



社会福祉法人石動青葉福祉会
石動青葉保育園
〒932-0046
富山県小矢部市観音町5-4
TEL 0766-67-0833
<http://aobahoikuen.com/>

小矢部市シンボルキャラクター「メルギョーくん」グッズの販売
地元のお店紹介・特産品のプレゼント企画を随時開催

Oyabe Local SHOP

eyabettar
流行のツイッター・利用
プレゼントも500円!

<http://www.startaro.com/shop/>

小矢部の人と人、人と企業、企業と企業の架け橋
北陸の十字路からの情報発信システム

Oyabe Local SNS

登録無料小矢部の最新情報をGET!!

<http://sns.startaro.com/>

口コミ情報、おもしろ情報を集めてメルマガ
「ありがとらプロジェクト」スタートしています

Oyabe Local Mail

前しがとら実的
大9開催中!!

<http://oyabelocalmail.blog27.fc2.com/>

過去でもなく、未来でもなく。
今を生きること。
簡単そうで、簡単じゃない。

店長の一言